

まちの話題



新年の幕開け 初日の出

1月1日(火・祝)、養老公園芝生広場に初日の出を見ようと町内外から600人以上の人が集まりました。

当日は昨年末に降った雪が残る中でしたが、雲一つ無い快晴で、1年の始めを告げるにふさわしい初日の出を拝むことができました。

集まった人々は配布された豚汁やコーヒーで体を温めながら日の出を待ち、太陽が顔を出すとともに、大きな歓声を上げていました。



初日の出を見るため養老公園に集まった人々

みんなで助け合おう



創作劇を熱心に見つめる児童たち

12月4日(火)、笠郷小学校体育館で人権教室(創作人形劇の上演)が開催され、全校生徒約280人が西濃地区の人権擁護委員の皆さんによる創作劇「だいじょうぶ・だいじょうぶ」を鑑賞しました。

この創作劇は、おじいさんに助けられて育った小学生が、今度は、よろけて足を痛めたおじいさんを助けるというお話で、劇を見終えた児童は、「困っている人がいたら声をかけて助けたい」「お年寄りに優しくしたい」と感想を述べました。

その後、人権イメージキャラクターの人KENまもる君と人KENあゆみちゃんも登場し、子どもたちは思いやりを持って生活することの素晴らしさを学びました。

薩摩義士の顕彰

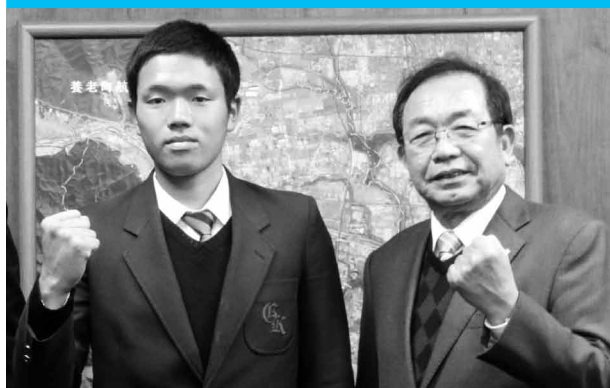
池辺地区根古地には、地元で「浄土三昧」と呼ばれる史跡があり、宝暦治水工事で亡くなった24人の薩摩義士が埋葬されています。

12月7日(金)、「薩摩隼人会」より町薩摩義士顕彰会に対し、同地慰霊堂本尊を納めるための厨子が寄付されました。薩摩隼人会とは、今年度平東区有志を中心として立ち上げられた団体です。今回の寄付に当たり、同会代表の樋渡聡さんは「今後も薩摩義士の顕彰をはじめとする、地域の活動をさまざまな形で支援していきたい」と述べられました。



薩摩隼人会と町薩摩義士顕彰会の皆さん

全国高校サッカーへ健闘誓う



全国大会での健闘を誓う藤原悠良さん(左)

12月19日(水)、岐阜工業高校の藤原悠良さん(三神町)が来庁され、大橋町長に全国高校サッカー選手権大会への出場を報告しました。

藤原さんは県大会でゴールキーパーとして活躍し、決勝戦では中京学院大中京高校を2-1で破り優勝。町役場では「まずは一回戦に勝って、流れに乗っていきたい」と抱負を述べました。

大橋町長は「周りの人の協力があってこそこの結果ということを忘れず頑張ってください」と激励の言葉を贈りました。